

晴 明

学校だより No.9



○学校目標「よく学び よく遊び よく働き 思いやりのある子ども」

保護者懇談会ありがとうございました。

一昨日までの学級懇談会では、師走の忙しい中ご来校いただき大変ありがとうございました。

これまでのお子さんの頑張りや伸びをお伝えし、3学期の方向を一緒に考えることができました。共有させていただいたことに取り組みながら、学年のまとめをして参ります。

清掃への取り組みが向上しています。



縦割り活動の一つとして、児童会が主体となり、清掃の意識を高める集会を行いました。学校を汚そうとするブラックデビルをプリキュアと一緒にクイズに答えながら戦いました。クイズを楽しみながら、清掃への取り組み方を再確認し、意識を高めました。

この集会の後から、清掃の時間になると校舎内が静かになり、自分で考えてきれいにする取り組みが見られるようになりました。これを見た美化委員長は「全校集会で話したことで清掃が静かにできてうれしい。これからも全校みんなで静かに掃除をやりましょう」と話していました。校長室前には黙々と清掃に取り組む素晴らしい姿がたくさん掲示され、さらに意欲を高めています。



松川町「ココスタの会」のご案内

不登校傾向・不登校のお子さんをもつ保護者の皆さんへ

「ココスタの会（ここへおいでよ スタートラインに立つ親の会）」を下記のとおり開催します。同じような経験を持つ親同士がその経験や悩みを語り合い、少しでも気持ちが楽になればと集まっています。学習、進路への不安や悩み等も話題にしています。

日 時：令和6年12月19日（木） 午後7：00～

場 所：中央公民館「えみりあ」 1階 会議室

お問い合わせ先 松川町教育相談室 担当 下澤俊治

電話 36-5255 携帯 (090-8337-2784)

MAIL mkodomosoudan@town.matsukawa.lg.jp

今年度の学力・学習状況調査から

本年度、6年生を対象に実施しました全国学力・学習状況調査に関して、本校での分析結果の特徴的な部分について報告いたします。

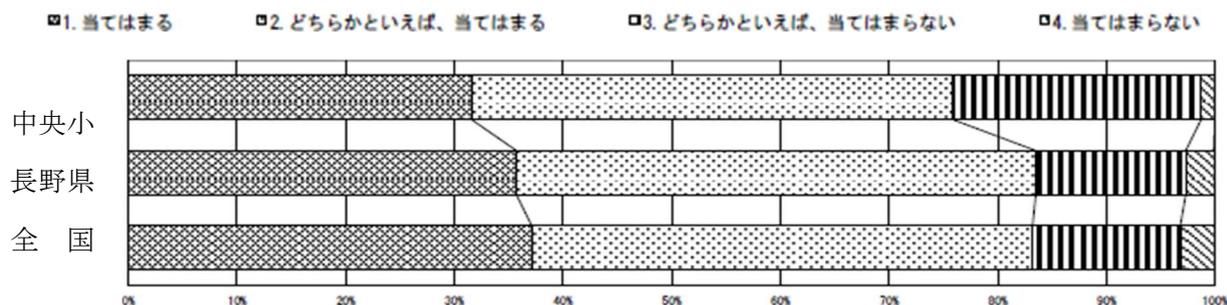
1 本校6年生の平均正答率と長野県平均・全国平均との比較

今年度の全国学力・学習状況調査は、国語、算数と児童質問の調査が行われました。

国語の正答率は、県・全国平均と比べ、やや下回る結果となりました。学習指導要領の観点「知識及び技能」については県・全国とほぼ同様の正答率ですが、「思考・判断・表現」がやや下回る結果となりました。問題ごとに見ていくと、言葉の使い方(文法)に関する問題が低くなっています。低学年の内から言葉の働きやきまりを確実に身につけていくことが必要であると思われます。

語を読んで心に残ったところとその理由をまとめて書くことは、県・全国の平均を上回っていますが、目的や意図に応じて、自分の考えが伝わるように工夫して話したり、書いたりすることが下回っています。国語の授業に関するアンケート「国語の授業で、目的に応じて、簡単に書いたり詳しく書いたりするなど、自分の考えが伝わるように工夫して文章を書いていますか」の質問に対する肯定的な回答も、県や国の平均を下回っています。

国語の授業で、目的に応じて、簡単に書いたり詳しく書いたりするなど、自分の考えが伝わるように工夫して文章を書いていますか



算数は全体の正答率、学習指導要領の観点「知識・技能」「思考・判断・表現」のすべてで県・全国平均とほぼ同等の正答率でした。学習指導要領の領域で見ると、「A数と計算」「B図形」はほぼ同じ、「C変化と関係」でやや下回り、「Dデータの活用」は大幅に上回っていました。問題毎に見ていくと、「直方体の見取り図の辺を選ぶ」「小数の割り算の計算」「示された情報から桜の開花予想日を求める」ことはかなり上回っています。一方、「数量の関係を捉え立式する」「ある条件を踏まえて答えの求め方を書く」「道のりと時間の関係について考察する」問題の正答率は、県・全国平均を下回っています。

どちらの教科とも、記述式の問題の無回答率が県・全国平均よりも下回っています。また、児童質問紙の中でそれぞれの教科の学習内容が将来役立つと思っていると答えている児童の割合が高いことから、学習することの意義を見出し、意欲を持って学習に取り組んでいることがわかります。

しかし、自分自身で目的を意識して学習に取り組んだり、自分の考えを筋道立てて説明したりすることに課題が見られます。自分で問いを持ち、その解決方法を自分なりに考えて解決していく学習をさらに積み重ねていく必要があると考えられます。

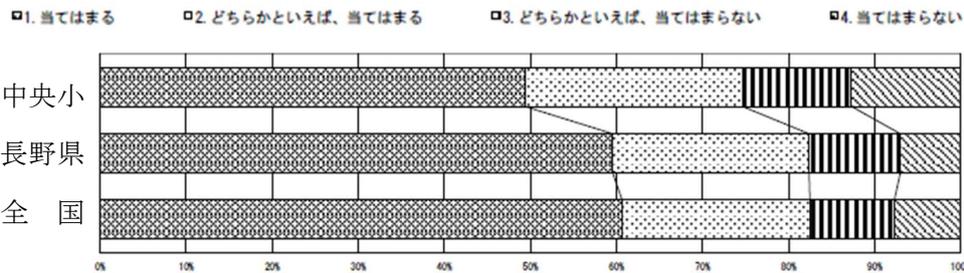
2 児童質問紙から見てきたこと

全国学力・学習状況調査では、学習や生活に関して、様々な視点から児童に質問をしています。その中から見てきた本校6年児童の傾向について以下に挙げます。

【グラフは、最上段…本校、二段目…長野県 下段…全国】

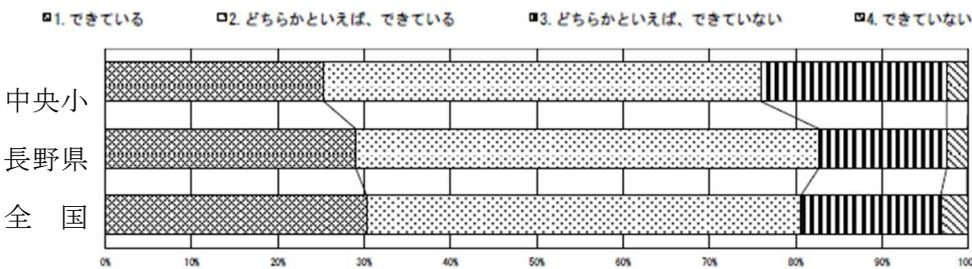
(1)生活全般について

①将来の夢や目標を持っていますか。



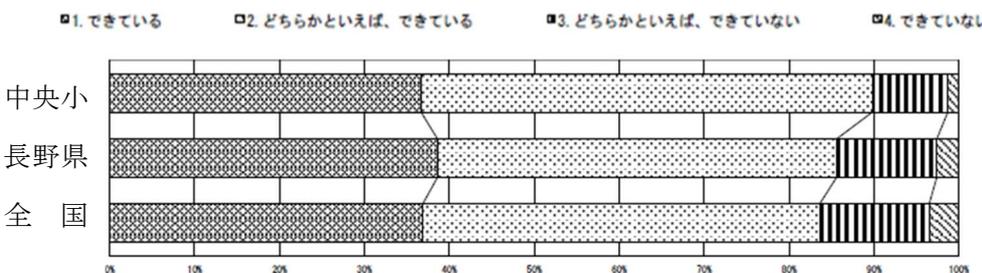
①本校は県・全国に比べて10ptほど低い結果となっています。「自分にはよいところがありますか」「普段の生活の中で幸せな気持ちになることはありますか」も、やや低くなっています。

②分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできていますか。



②県・全国に比べ低い結果になっています。「5年時に学んだことを生かして自分の考えをまとめる活動を行っていましたか」も低くなっています。

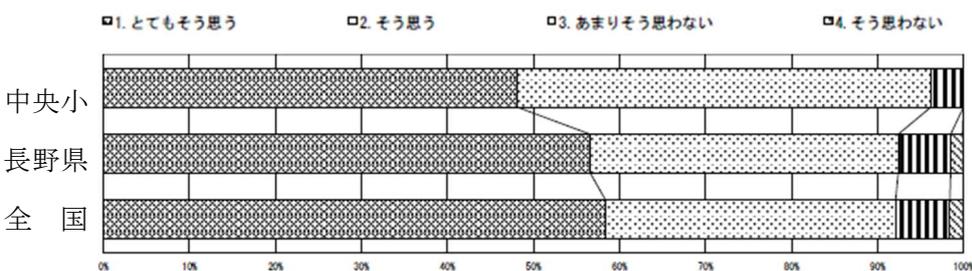
③地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか



③肯定的な回答をしている児童が9割に達しています。人の役に立つ人間になりたいと思いますかという質問にも97%が肯定的に答えています。

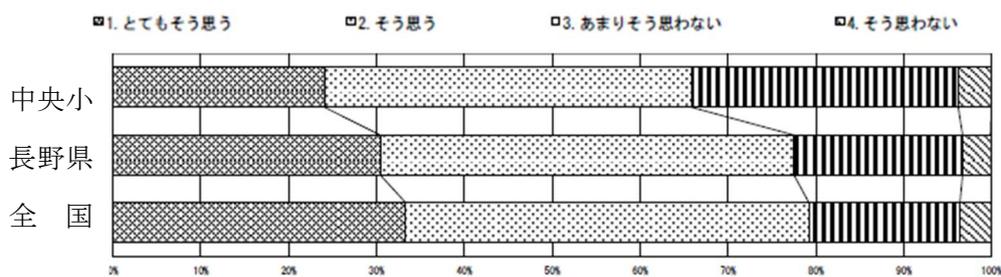
(2)学習について

①5年生までの学習の中で、PC・タブレットなどのICT機器を活用することについて、分からないことがあった時に、すぐ調べることができる。



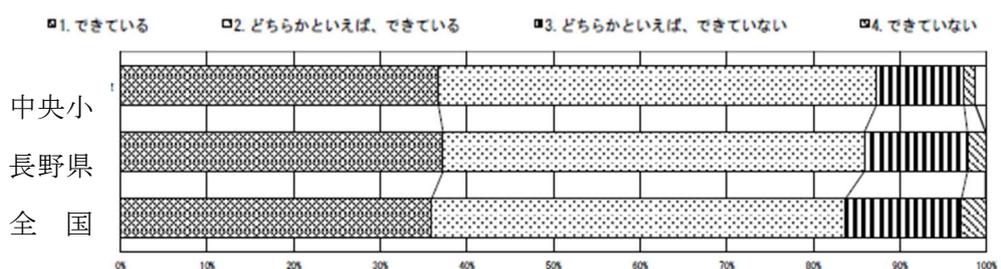
③肯定的な回答をしている児童が95%に達しており、ICT機器を使って調べたことを繰り返し行ってきたことの成果と考えられます。

②5年生までの学習の中で、PC・タブレットなどのICT機器を活用することについて、自分の考えや意見をわかりやすく伝えることができる。



②ICT 機器で調べることは逆に、県・全国より低い結果となっています。自分の考えを発信することが今後の課題と言えます。

③授業で学んだことを、次の学習や実生活に結びつけて考えたり、生かしたりすることができますか。



③県・全国に比べ高くなっています。学習したことが将来、役立つと思っている児童が国語も算数も 95%を上回っており、学習が将来役立つと考えている子が多くいます。

これらの結果から、総合的な学習の時間や学びの旅などの地域に根ざした学習を積み重ねてきたことで、地域に貢献したいと願い、わからないことを自分で調べていこうという意欲が育ってきていると考えられます。学習することの意義をしっかりと理解していることが、授業に取り組む前向きな姿勢となって現れていることもうかがえます。

自分の将来の夢や目標をもち、その実現に向けて、自分の知りたいことは興味のあることを自分でやり方を考えたり、工夫したりして取り組み、その成果を発信していく学習を大切にしていきたいと思っています。

3 今後の取組みの重点

(1) 問いのある授業 探究的な学びの充実

子どもたちの疑問や問いから出発する授業をスタートさせ、自ら考え、自ら解決していく学習により、子どもの探究する心を養っていききたいと思います。

(2) 自分の考えを説明する学びの過程を大切にされた授業

授業の大切さを理解し、誠実に取り組める児童が多いのですが、より主体的に自分で解決の方法を見い出したり、工夫したりする児童はやや少ない結果となっています。答えを出すまでの自分なりの考えをもち、それを友と共有しながら、考えを再構成していく授業を行っていきます。

(3) まつかわタイムをいかした対話的な学びの充実

協働的な学びに大切な「話すこと・聞くこと」に抵抗を感じている結果があります。

今年度から始まったまつかわタイムで、友と話すこと、友の話を聞くことが楽しいと感じられるようにし、そこで培った力を日々の対話的な授業に生かしていきたいと思っています。

これからも児童一人一人の学力向上を目指して、ご家庭と協力しながら取り組んでまいりたいと思います。今後ともよろしくお願いいたします。